

**厚田地域自治区としての取り組み・基本的な考え方****① 住民の意思を反映した特色ある地域づくり**

地域づくりの実働部隊は役所ではなく、地域住民であることを認識しながら地域づくりに対する夢や想いを導き出すことが役所の役割であり、このことが将来的にも持続できる地域づくりの取り組みに結び付くものと考えます。

今後においても、地域住民の自主的・主体的な取り組みが特色ある地域づくりにつながるものと考え、市は住民を十分サポートし、住民の意思を反映した特色ある地域づくりを進めてまいります。

**② 住民自らが考え実践する仕組みづくり**

住民自らの想いを実現させるため、できることをできる範囲で私達職員も地域の一員としてメンバーと一体となり取り組む姿勢が、地域住民との一体感を醸成します。

住民自らが考え実践する仕組みづくりは、地域住民の熱い想いであり、自らが創り上げようとする強い想い、この想いが様々な困難をのり越える力となるものと確信しています。

また、住民自らが実践する仕組みづくりは、住民自らの発案であること、そして住民自らがその一つひとつに係り・携わる、そして行動していくことが重要なポイントになると思います。

地域には多くのリーダーが存在し、それぞれが得意の分野で力を注ぎ活躍しております。その力を存分に発揮できる場、住民の夢・想いをかなえるためのお手伝いをするのが支所職員であり、その夢・想いを実現させるためのコーディネート役も兼ね備える必要があると考えています。

最も大切な事は、共通の認識を持ち、目的意識を共感し、同じスタートラインにつくことがはじまりであり、住民自らが考え実践する仕組みづくりを目指します。

**③ 長期的展望に基づく課題に対する対応**

(人口減・高齢化など)

これまでの厚田支所の取り組みは別紙に示したとおりであり、それぞれの団体が、それぞれの目標を掲げ特色ある地域づくりを進めています。

しかし、これらの活動は一つひとつの点に過ぎず、個々には地域に貢献していると認識されておりますが、必ずしも厚田区全体の線並びに評価になっておりません。

そこで、この点を厚田区全体の大きな丸につなぎあわせるためにも、今後厚田区としての目標を明確に打ち出し、区の目指す姿を区全体で確認し、その趣旨・目的を理解することが、地域が一つとなり取り組む姿へと導くものと確信しております。

そのためには現在、人口減・高齢化・後継者不足などあらゆる観点からこの問題を解消するための、区としての目標・目指す姿を地域住民の声を反映しながら地域協議会の中で検討しているところであり、2期目のメンバーでこの姿を描き、3期目からその姿を実現させる動きへと導き、残された6年間で特色ある地域自治区を確立し、元気な「厚田」そして「石狩」を創り上げます。